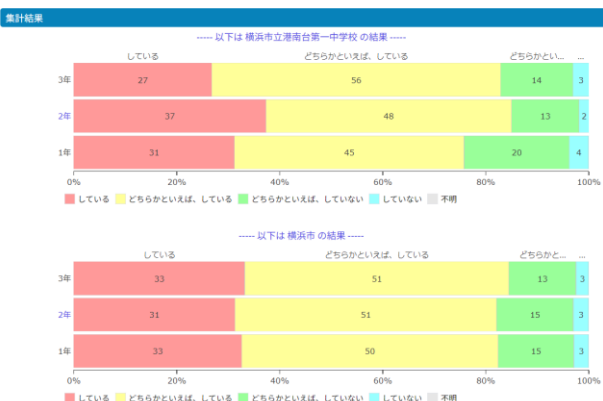


令和6年度 横浜市学力・学習状況調査(港南台第一中学校の結果) 【生活・学習意識調査に着目した分析】

令和6年4月25日に全学年を対象に実施した横浜市学力・学習状況調査結果の概要をお知らせいたします。

34 34 うまくいかないときには、なぜできないのかを考え、やり方を変えたり、次の方法を試したりしていますか。(対今年度他学年)

回答方式: 択一式 (4択) 正答: 0

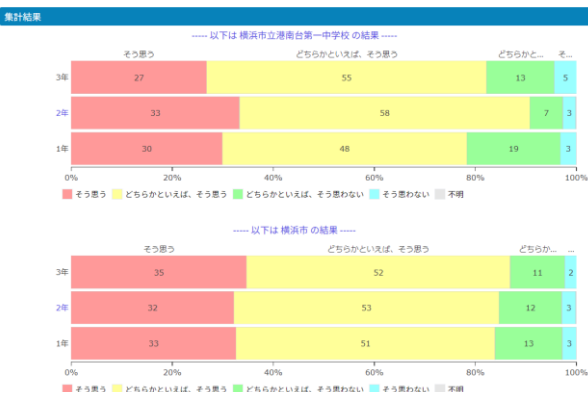


【設問：うまくいかないときには、なぜできないのかを考え、やり方を変えたり、次の方法を試したりしていますか。】

1年生では、試行錯誤により取り組みを改善していく意識が横浜市より低い。主体的に学習に取り組む態度に課題がある。

37 37 友達のしたことや言ったことに対して、なぜそれをしたり言ったりするのか理解できるほうだと思いますか。(対今年度他学年)

回答方式: 択一式 (4択) 正答: 0

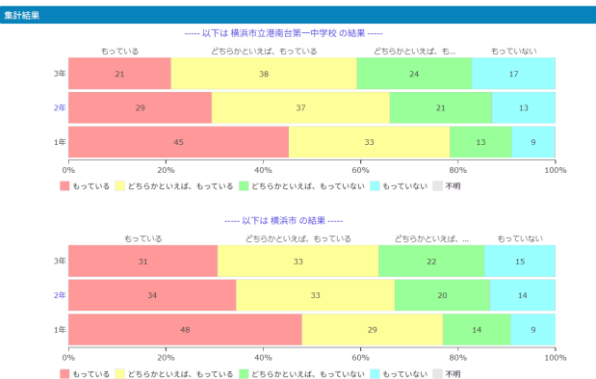


【設問：友達のしたことや言ったことに対して、なぜそれをしたり言ったりするのか理解できるほうだと思いますか。】

2年生では、他者の言動や心情について理解できると肯定的に答える割合が横浜市より高い。

10 10 将来の夢や目標をもっていますか。(対今年度他学年)

回答方式: 択一式 (4択) 正答: 0



【設問：将来の夢や目標をもっていますか】

3年生では、横浜市や他学年と比較して肯定的な回答が少ない。

<分析と授業改善の視点> ～全ての教科等に共通した授業改善～

分析チャートより、教科等における学習活動の中で、目的意識を持って自ら学習に取り組むことが苦手だと考えられる。他者と関わりながら活動する場面を生かし、学校での居心地をよくしていくことで生活意識を高めることができるので、集団での活動や学習の中で、共に学ぶことの楽しさや自己有用感などをさらに育むことを大切にしていきたい。

今後は、授業の中で生徒が課題を発見して、その課題について自分なりに考えて結論を導き出すような活動をより多く取り入れることが必要だと感じた。そのためには、しっかりと探究が行えるように、総合的な学習の時間を充実させ、生徒自らが学習の仕方を調整し、他者との関わりや活動の目的を十分に意識した協働的な学びができる授業づくりを展開していくことが重要である。